



# 議会だより

令和2年5月1日



今年もきれいに咲きました。  
春風に揺れる満開の桜並木(工業団地内)

## 主 な 内 容

	ページ
3月定例会の概要 .....	2~7
一般質問 .....	8~13
政務活動報告 .....	14
聲<こえ>私のいいたいこと .....	15
議会日誌・編集室 .....	16

□編集/芳賀町議会広報常任委員会

□発行/芳賀町議会

〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020

電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057

芳賀町議会ホームページ

<http://www.town.tochigi-haga.lg.jp/menu/torikumi/gikai/index.html>

# 可決



## 特別会計44億2,650万円



### 定例会の概要

令和2年第1回芳賀町議会定例会が3月3日から16日までの14日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、同意案を可決しました。一般質問は第1日目の3月3日、3日目の3月5日に行われ、5人の議員が町政について質問しました。第4日目に令和2年度予算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。第7日目に令和2年度予算の質疑を行った後、予算の審査を常任委員会に付託しました。最終日に令和2年度予算を原案どおり可決し、閉会しました。

### 躍動する芳賀の町 未来につなげよう

令和2年度の予算総額は145億2650万円、前年度に比べ12億3440万円の増となりました。一般会計歳入歳出の総額は101億円で、前年度に比べ13億5千万円の増、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理される特別会計歳入歳出の予算総額は、44億2650万円で、前年度に比べ1億1560万円の減となりました。

歳入の根幹をなす町税は、国の税制改正による法人町民税の減収、新設される法人事業税交付金および地方消費税交付金については増収を見込みました。

歳出は、LRT整備事業を本格的に進めるために24億2977万円の事業費を計上しました。また、祖母井中央地区整備、芳賀第2工業団地整備、町道三日市芳賀第2工業団地線道路改良についても事業の早期完了を目指します。そして、将来を見据えた「まちづくり」の計画的かつ効果的な推進、町民生活の「安全安心」を高める取り組みの確実な推進、「子育て支援」のさらなる充実を掲げました。

### 令和2年度各予算会計

会計名		予算額
一般会計		101億円
特別会計	国民健康保険	19億1,000万円
	後期高齢者医療	1億7,500万円
	介護保険（保険事業勘定）	14億9,250万円
	介護保険（介護サービス事業勘定）	400万円
	芳賀工業団地排水処理センター	5,280万円
	公共下水道事業	3億600万円
	農業集落排水事業	1億8,300万円
	宅地造成事業	3億320万円
合計	145億2,650万円	



# 令和2年度予算を

## 一般会計101億円

令和2年度の主な  
**5**つの  
つなげる  
事業

**便利**

LRT整備費



24億2,977万円

県への道路改良工事委託料、污水管移設・軌道施設工事など

**教育**

学校ICT推進費



3,113万円

小中学校への電子黒板・指導者用デジタル教科書の配備など

**話題**

農業担い手育成支援費



5,335万円

産地パワーアップ事業費補助金(稲毛田梨団地)など

**笑顔**

妊娠出産支援費



2,445万円

産後育児の用品をまとめた「育児パッケージ」の贈呈など

**地域**

災害対策費



1,066万円

洪水ハザードマップ見直し業務、防災士資格取得補助など

# 令和2年第1回芳賀町議会定例会提出議案



## 同意

□芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について

杉田仁氏の後任として、綱川文世氏（八ツ木）を最適任者として選任することを議員全員が同意しました。



▲綱川文世氏

□人権擁護委員の候補者の推薦について

令和2年6月30日付けをもって任期満了となる荒井俊夫氏（西水沼）を引き続き最適任者として法務大臣に推薦することを議員全員が同意しました。



▲荒井俊夫氏

## 条例改正

□芳賀町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について

地方公務員法の改正により、令和2年度から新設される会計年度任用職員もサービスの宣誓の対象となることから条例を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

人口減少や勤務形態の変化等により、出動人員不足などが懸念されている消防団において、火災や災害など有事の際のみ出動する「機能別団員」の導入を行うため、条例の一部を改正するもの。

また、法律の改正により、成年被後見人等を資格、職種などから一律に排除する規定を削除するなどの改正を行う

もの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」の改正に伴い、「芳賀町固定資産評価審査委員会条例」で引用している同法の題名を

「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」に改めるほか、関係する条文を整備するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□監査委員に関する条例の一部改正について

地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町印鑑条例の一部改正について

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、成年被後見人であっても意思能力を有するものは印鑑登録を行うことができるようにするため、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

厚生労働省令の基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業者の連携施設の確保の特例に関する規定ならびに経過措置の延長および連携施設の確保を不要とするもの。

また、建築基準法の一部改正により、耐火建築物とする基準が緩和されたが、保育施設においては耐火性能を担保する必要があることから、設置基準の改正に合わせて、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員認定資格研修について、これまで都道府県知事が行うこととされていたところを、指定都市の長も実施できるとするため、条例の一部を改正するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町子ども子育て会議条例の一部改正について

芳賀町部課設置条例の改正に伴い、こども育成課の児童保育係が、教育委員会から町長部局に新設される子育て支援課に移行するため、条例中の教育委員会を町長に、教育委員会事務局こども育成課を子育て支援課に改めるもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

## □芳賀町国民健康保険条例の一部改正について

地方税法の一部改正等により、芳賀町国民健康保険条例の一部を改正するもの。

主な内容は、資産割の課税を廃止するとともに、医療分の賦課限度額を3万円引き上げて61万円とするもの。

〔質疑〕 小林隆志議員

(討論なし、原案可決)

## 路線廃止・認定

□芳賀町道路線の廃止について

□芳賀町道路線の認定について

主要地方道宇都宮・向田線大塚工区の供用開始に伴い、町道の起点、終点に変更が生じるため、いったん町道路線を廃止し、その後、廃止した町道路線を再度認定するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

## 契約変更

□委託工事契約の変更について

令和元年第3回定例会において議決した、LRT整備事業に係る道路改良等工事の契約額を6億9100万円から4億5039万3530円減額し、2億4060万6470円とし、現在実施している道路改良等工事のうち、今年度末までの完了実績に基づき、その費用を精算するもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)



▲芳賀工業団地管理センター付近

## 補正予算

□令和元年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

総額に1億9652万7千円を追加し、予算総額を99億4130万2千円とするもの。

〔質疑〕 石川保議員、

中村由美子議員、

岩村治雄議員、

岡田年弘議員、

山口菊一郎議員、

小林一男議員、

大根田弘議員、

北條勲議員、

江間田信一議員、

有坂隆志議員

(討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

総額に3500万円を追加し、予算総額を19億5916万5千円とするもの。

〔質疑〕 小林一男議員

(討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

総額から25万円を減額し、予算総額を1億6757万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第3号)

保険事業勘定の総額から132万6千円を減額し、予算総額を15億1163万8千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算(第1号)

総額から417万円を減額し、予算総額を5323万円とするもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

総額に367万7千円を追加し、予算総額を3億2407万7千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

総額の増減はなく、歳入予算を組み替えるもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□令和元年度芳賀町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

総額から1億4828万4千円を減額し、予算総額を2億6471万6千円とするもの。

〔質疑〕 小林隆志議員

(討論なし、原案可決)



▲台風19号で被災した揚水機場(那須烏山市)

# 常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は令和2年度の予算の審査を付託され、3月9日から12日まで各課の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月16日の本会議において意見を付して予算を認定しました。



## 付託内容

### 総務

- ・一般会計予算中、他の常任委員会の所管に属さないすべての歳入歳出

### 教育民生

- ・一般会計予算中、教育民生常任委員会の所管に属する歳入歳出
- ・国民健康保険特別会計予算歳入歳出
- ・後期高齢者医療特別会計予算歳入歳出
- ・介護保険特別会計予算歳入歳出

### 産業建設

- ・一般会計予算中、産業建設常任委員会の所管に属する歳入歳出
- ・芳賀工業団地排水処理センター特別会計予算歳入歳出
- ・公共下水道事業特別会計予算歳入歳出
- ・農業集落排水事業特別会計予算歳入歳出
- ・宅地造成事業特別会計予算歳入歳出

## 総務 常任委員会



委員長 大根田周平  
副委員長 江間田信一  
委員 小林 信二  
委員 小林 俊夫

### 書類審査 (3月11日)

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

### 現地調査 (3月12日)

消防詰所(2-1、2-2)、LRT軌道施工箇所(工業団地内)

### 審査の意見又は特に留意すべき事項

(1) 本町の交通事故の特徴をみると、昼間人口増加等に伴い田園型事故と称される交通事故が多く見受けられる。このような現状を鑑み、いかにして児童・生徒・高齢者等の交通事故を無くするかということが、喫緊の課題となっている。

そこで、交通危険個所の合同点検、小・中学校付近の道路にゾーン30の指定等が有効と考察するので、警察その他関係機関・団体と連携し、安全・安心なまちづくりをさらに推進されたい。

(2) 町ではLRT事業をはじめとする大規模な事業が進行している。このような状況を踏まえ、町政の健全経営を担うためには職員の資質向上が必要不可欠であることから、SDGs(持続可能な開発目標)研修の実施など職員の服務遂行能力向上に積極的に取り組まれない。

## 教育民生 常任委員会



委員長 小林 一男  
副委員長 岡田 年弘  
委員 大根田 弘  
委員 有坂 隆志  
委員 中村由美子

### 書類審査 (3月9日、11日)

住民課、健康増進課、福祉対策課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

### 現地調査 (3月12日)

総合情報館、農業者トレーニングセンター(学童保育)、与能テニスコート、海洋センター、生涯学習センター水橋分館

### 審査の意見または特に留意すべき事項

- (1) 不妊治療費助成は、急速に申請が増えているが、現在期間が助成開始から通算5年となっている。治療期間が長くなる場合があることから、年齢制限にするなど、助成のあり方を再検討されたい。
- (2) 今般の新型コロナウイルス感染症の流行対策により、小中学校においてインフルエンザ流行が大幅に抑制された。今後とも咳エチケット、手洗いを通じて、子どもたちをウイルス性感染症から守るよう努められたい。
- (3) 当町の施設は総じて改修が必要な時期を迎えている。計画的修繕に努め、長寿命化に努められたい。

## 産業建設 常任委員会



委員長 北條 勲  
副委員長 山口菊一郎  
委員 小林 隆志  
委員 岩村 治雄  
委員 石川 保

### 書類審査 (3月11日)

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

### 現地調査 (3月12日)

天神延生橋欄干工事、三日市・芳賀第2工業団地線道路改良工事、芳賀第2工業団地造成工事、LRT工事、かしの森公園、前久保・後久保線道路改良工事

### 審査の意見又は特に留意すべき事項

- (1) 社会資本整備総合交付金事業飯島・上横西線道路改良工事は、地権者及び近隣利用者の多大なる協力により進められているが、この事業が長期にわたり進捗に支障をきたしていると思われる。重要幹線道路・危険箇所であり、早期の完成が求められている路線であることから、この事業を町単独の事業に変えても早期の事業推進を図られたい。
- (2) ロマンの湯の利用者は年々減少傾向にある。複数の要因があるものの、特に温泉施設の差別化を図るため、魅力ある施設と付加価値を高めることが重要である。そこでサウナは顧客ニーズが高く、固定客の確保に効果的であることから、優先して改修するよう検討されたい。
- (3) 祖陽が丘の分譲については、消費税の増税等もあり、計画された販売数に至らなかった。令和2年度は目標数が販売できるよう、なお一層努力されたい。

# ここが聞きたい 5人の議員が一般質問

一般  
質問

第1日目、3日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。



岡田 年弘 議員 (9ページ)

- ① 「ふるさと納税」の取り組みについて



有坂 隆志 議員 (10ページ)

- ① 災害防災について
- ② 芳賀工業団地内のトランジットセンターについて
- ③ 学童の送迎バスの停留所について



大根田 周平 議員 (11ページ)

- ① 行政経営品質向上策について



中村 由美子 議員 (12ページ)

- ① 新型コロナウイルスに対する対応は
- ② 子供の体力向上をどう考えるか
- ③ 子育てサポートについて



北條 勲 議員 (13ページ)

- ① 紙パック用乳首の配布について
- ② 働き方改革について



## 一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は6月1日からの予定です〉

## みんなで議会を 傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも  
放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から  
再放送 翌日の午後2時から





岡田年弘が問う

# ふるさと納税の取り組みについて

**問** ふるさと納税について、町の考えを伺う。

**答** 町長 ふるさと納税については、自

ら故郷を応援したいと思う地方公共団体に寄付を行うという趣旨の制度であり、自治体間の過度な返礼品競争により、本来の趣旨から逸脱した形で拡大した傾向があります。返礼品を通じて町の知名度や特産品を伝えること、生産者の所得向上につながるることなどの効果が見込める側面があり、芳賀町を応援したいと思ってもらえるような内容に見直すことで、寄付を通じて芳賀町に興味を持ってもらい、訪れてもらえるように改善を図っていきます。

**問** 当町におけるふるさと納税の実績、採算性について問う。

**答** 企画課長 本年度は1月末現在で12件、126万8480

円の寄付をいただいています。平成30年度は12件、125万円の寄付がありました。他自治体への寄付による町民税の流出額との差し引きはマイナス481万円です。

**問** ふるさと納税をさらに積極的に取り組む考えはあるか。

**答** 企画課長 返礼品の見直しによる特

産品のPRや寄付メニューの見直しなどにより、町を離れた町出身者にも芳賀町よさを再確認していただき、応援してもらえるような制度に改善していきたいと思います。

**問** 交流人口の拡大は町の発展、財源確保にも課題となると思うが、その取り組みとしてふるさと納税を活用できないか。

**答** 企画課長 このよ

うな取り組みを行うには、まず芳賀町を知ってもらい、興味を持ってもらうことがきっかけになると思いますので、ふるさと納税による町の認知度向上に取り組みたいと思います。

**問** LRT、遊水地、桜堤などこれから観光資源にもなる事業が進捗しているが、この関連に対するイベント券、グッズ等を作成し、返礼品に加えることで、将来的に町の活性化につながっていくと考えるがいかがか。

**答** 企画課長 その地域にちなんだオリ

ジナルグッズ、その自治体実際に訪れてもらう体験型の返礼品なども多く見られるようになってきています。関連した返礼を行うことで、満足感を強く感じてもらうことが期待できるので、検討していきたいと思います。

**問** ふるさと納税を財源とした自治会等の自主活動支援を強化できないか伺う。

**答** 町長 町を活性化

するために各大字に寄付金を配分して活性化につなげたどうかとのことですが、入ってくる寄付金が少ないところに問題がありますので、まずは寄付金を増やす体制をとっていかねばならないと思っています。



有坂隆志が問う  
災害防災について



**問** 昨年の台風19号の際に指定された町

避難所が遠距離であったため、東水沼地区では避難勧告を受けた住民を自主防災拠点である公民館に臨時避難所として受け入れたが、避難生活のための機能が不足している状況であった。町のこれら課題に対する対応方針を伺う。

**答** 町長 町は、収容人員数や非常用電源整備を考慮して町民会館を避難所としましたが、地域の身近な公民館などを自主避難所として開設していただ

いたため、避難所が近くともありがたかったという住民の声を聞いております。今後は町が指定する避難所と自主防災組織が開設する自主避難所との連携を図る取り組みを強化

し、町民の皆さんが安心して避難できる体制の整備を進めます。また、避難所に必要な備品を令和2年度予算で購入し、避難した町民の皆さんの負担軽減を図れるよう取り組んでまいります。



▲臨時避難所にした東水沼公民館

芳賀工業団地内のトランジットセンターについて

**問** LRTの芳賀工業団地内トランジットセンターの概要と進捗状況について伺う。

**答** 町長 芳賀町区間の交通結節機能を強化するため、デマンド交通、路線バスや自動車などによるアクセスを想定し、管理センター前停留所周辺県道南側適地に整備を検討

しています。整備にあたっては、現バスターミナルの機能と管理センター敷地の一部活用も検討し、乗り継ぎに必要な駐車・駐輪場、路線バス・タクシーの乗降場、デマンド交通や送迎用の停留スペースの確保を図るほか、乗り換えがスムーズに行えるよう

なっています。整備にあたっては、現バスターミナルの機能と管理センター敷地の一部活用も検討し、乗り継ぎに必要な駐車・駐輪場、路線バス・タクシーの乗降場、デマンド交通や送迎用の停留スペースの確保を図るほか、乗り換えがスムーズに行えるよう

なっています。整備にあたっては、現バスターミナルの機能と管理センター敷地の一部活用も検討し、乗り継ぎに必要な駐車・駐輪場、路線バス・タクシーの乗降場、デマンド交通や送迎用の停留スペースの確保を図るほか、乗り換えがスムーズに行えるよう

学童の送迎バスの停留所について

**問** 現在の学童送迎バス停留所と、通学歩行距離基準は20

年前のものと認識しているが、その後の社会情勢の変化に対応した安全安心な基準に見直す考えがあるか伺う。

**答** 町長 町スクールバスの管理

及び運行規則は状況に合わせて改正しています。子どもたちを取り巻く社会環境の変化は理解していますが、体力低下等を考慮すると慎重にならざるを得ません。また、スクールバスの停留所の位置は子どもたちの安全確保

を第一に考え、保護者や学校と協議して必要に応じ見直しています。





## 大根田周平が問う 行政経営品質向上策について

行政経営品質向上とは、組織が継続的な経営革新に取り組み「卓越した経営」を目指すということである。それには、  
① 町民の皆さま本位  
② 独自能力  
③ 職員重視  
④ 社会との調和  
の4つの基本理念があるとされている。本年は第6次振興計画の中期基本計画を策定する年であることから、次の点について伺う。

**問** 職員重視の視点から職員満足度調査を実施しては。

**答** 町長 町では、平成13年度から数年

間実施し、その後は振興計画の基本構想策定に併せて実施しています。平成25年からは毎年ストレスチェックを実施していますが、職員満足度調査のように多くの項目を調査するものではありませんが、満足度を捉えるには有効と考えています。また、人事ヒアリングも実施しており、今後も対話により職員の考えや意見を把握していきます。

**問** 町の独自能力という視点において①LRTの導入、②第2工業団地造成、③祖母井の土地区画整理事業等が将来性あふれる強

みと考えられるが、それぞれの事業の強みと課題について把握しているか。

**答** 町長 ①LRT事業

については、通勤や通学をはじめ日常生活の移動の選択肢が増え利便性が大きく向上し、さらに、町の魅力が高まり定住や交流人口の創出につながるかと考えています。課題は、LRTと他の交通モードがスムーズにつながる交通ネットワークの構築と、町独自の仕掛けづくりが必要と考えています。②芳賀第2工業団地の強みですが、県央地区有数の芳賀工業団地の機能が充実するとともに、首都圏からのアクセスも良く、水害等の災害リスクが少ないなど、立地を希望する企業ニーズに応えるものと考え

ます。また、町民の皆さまの雇用機会を増やし、町の財政基盤も強化できると考えています。課題は、早期の分譲と優良企業の誘致です。③祖母井の土地区画整理事業の強みは、主要公共施設の集まる祖母井市街地を居住拠点として、土地利用の誘導により、都市的機能を集約した市街地を形成することです。課題は、関係する他事業の進捗などの影響があり、事業が長期化していることです。

**問** 魅力ある町を実現するため、町全体の土地利用をどのように調和し高めていくか。

**答** 町長 振興計画で

市街化区域、市街化調整区域の土地利用方針を定め、その方針

に沿った土地利用を行うこととしています。LRT事業によるポテンシャルを活かし、地区計画制度などを活用しながら良好な生活拠点の形成を図ります。橋場地区をはじめとする一定のまとまりを持つ集落においても、市街化調整区域における生活拠点として地区計画制度などの活用を検討します。



▲将来LRT導入が予想される祖母井の街並み



中村由美子が問う  
**新型コロナウイルスに対する対応は**

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町の今後の対応は。

**答** **町長** 町民への情報提供・注意喚起、町有施設等へのアルコール消毒液設置、イベントの自粛、小中学校の臨時休校、町有施設休館など対応していきます。今後も関連情報の把握に努め、正しい情報を町民に迅速に発信し、感染状況を踏まえ具体的な対応を対策本部で検討していきます。

**問** マスク不足の中、町から町民に配布しないのか。

**答** **健康増進課長** 現在の備蓄数では、一定量を公平に全町民や高齢者に配布するのは困難な状況ですが、臨時休校までの対応で児童生徒に1人6枚配布しました。今後、備蓄のあり方を再検討していきます。

**問** 臨時休校中の学童保育の対応は。

**答** **こども育成課長** 朝8時から夕方4時まで対応を予定しています。登録のない児童に対しても利用できるような体制を整えています。



**子供の体力向上をどう考えているか。**

**問** 全国体力テストの結果が下回っていることを踏まえ、①小中学校での対策、②期の運動の必要性、③障害児の運動環境について問う。

**答** **教育長** ①平成25年から芳賀町こどもの体力向上推進委員会を設置し、調査や研究と適切な支援を行っています。楽しみながら体力づくりができるよう、保育や授業で計画的に実施し、運動が好きな子どもたちを増やすことを目指しています。②障害児には、個別の支援計画や指導計画に基づき、運動に親しみ心身の健康を保持増進できるスポーツライフの基盤づくりを目指しています。

**問** 昨年から小学校で試みた、体と脳を使う運動「ブレインジムワークショップ」をさらに小学校や幼児期にも積極的に取り入れてはどうか。

**答** **こども育成課長** 来年度は回数を増やし、さらに小学校全体に広げる展開を考えています。

**答** **健康増進課長** 乳幼児健診でブレインジムの指導を行うことは難しいが、運動の必要性や方法などを取り入れたり、育児講演会等の企画も検討していきます。

ミング教室を開講する考えはあるか。

**答** **生涯学習課長** 専門的知識や技術を持った指導員が必要になることや、障害内容により受け入れ態勢が左右されることから実施に至っていません。他施設の実況を研究し、教室の実施に向けて検討していきます。



**問** 障害児は、体を動かすことが少ない傾向があり、学童クラブや部活など難しい場合がある。障害児スイ

その他に、4月から担当課が変更になった「学童保育」と「ファミリーサポート事業」の充実について質問しました。



## 北條勲が問う 紙パック用乳首の配布について

**問** いつでもどこでも哺乳瓶なしで水分補給ができる紙パック用乳首は、お出かけや災害時に役立つと思う。また、哺乳瓶を使わないので洗う手間もなく、育児にゆとりが生まれ、と思う。出生届の際に配布する考えはあるか。

**答** 町長 紙パック入り液体ミルクと一緒に持ち運べば、哺乳瓶なしで授乳ができ、外出時の荷物も減り、負担軽減につながります。また、災害時にも有効と思われませんが、あくまで赤ちゃんにとっての最良の栄養は母乳です。現時点で出生届の際に、紙パック用乳首を全員に配布することは考えていませんが、現在、町の乳幼児健診で災害時の赤ちゃんの栄養方法とし

て、液体ミルクについての情報提供をしています。紙パック用乳首についても、情報提供という形でお知らせしたいと考えています。

**問** 令和2年度に育児パッケージの贈呈を予定しているが、その中に紙パック用乳首を入れることはできないか。

**答** 健康増進課長 基本的には情報提供にとどめ、妊産婦さん自身が選択して購入できるので考えていません。



## 働き方改革について

**問** 労働者派遣法の同一労働同一賃金は、働き方改革の目玉である。次の点について見解を求める。①令和2年度会計年度任用職員

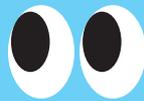
ページの例規集に掲載されない理由の5点について伺う。

の予定人数、平均年齢、平均年収ベース金額、町職員数の割合は。②会計年度任用職員は職務の宣誓や守秘義務があるのか。また、採用予定者に制度の説明をして合意をとっているのか。③災害など非常事態に会計年度任用職員は対応できるのか。④政府の経済財政運営指針で、就職氷河期世代の中途採用により正規雇用を増やすとあるが、町の考えは。⑤会計年度任用職員に関する条例が12月議会で可決されたが、2か月半以上たってもホーム

ページは47歳、平均年収額は250万円です。全職員数における会計年度任用職員の割合は33・9%です。②職員と同様に地方公務員法の職務に関する各規定を適用します。採用の際には、その旨を周知し募集しました。また、任用した会計年度任用職員に対して、改めて制度についての説明会を実施します。③大規模災害が発生した場合に、正職員だけで対応できない場合は、会計年度任用職員も招集し、災害対応に当たります。④町職員の採用については、今後10年程度は

毎年少ない採用人数で推移する見込みであることから、就職氷河期世代にまで対象を拡大し、採用試験を実施する考えはありません。⑤現在のホームページの例規集は、全国の自治体例規システムを扱う専門業者に委託し更新しています。12月は例年にくらべ、例規の制定や改廃が多かったことから、通常より時間を要してしまいました。





町政の課題

町民の意見の把握

町政反映の  
調査研究等

議員1人あたり

これらに要する経費に対して

年額 **11万円** を限度に交付

※令和元年度は改選の年につき、任期が5月からのため

## 芳賀政友会

交付額 **660,000円** 支出額 **727,149円**

- 調査研究 725,349円
- ・鹿児島県鹿児島市交通局「LRT停留所等について」
  - ・鹿児島県柳谷町内会（やねだん）「行政に頼らない集落づくり」
  - ・鳥取県日吉津（ひえづ）村「ワンストップ子育て支援について」
- 図書購入 1,800円
- ・市町村要覧（6冊）
- 所属議員 小林俊夫、小林一男、岡田年弘、小林信二、大根田周平、山口菊一郎

## 志友会

交付額 **550,000円** 支出額 **505,090円**

- 調査研究 478,290円
- ・岩手県紫波町「補助金に頼らない『オガールプロジェクト』について」
  - ・神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」
  - ・東京都東村山市「民間事業者からの提案事業募集」
  - ・千葉県幕張メッセ「地方創生総合戦略（地方版）の課題について」
- 災害ボランティア 16,500円
- ・栃木県栃木市（台風19号の被害に際し）
- 図書購入 10,800円
- ・市町村要覧（5冊）・地方議会改革の10年
- 所属議員 石川保、北條勲、岩村治雄、大根田弘、中村由美子

## 町民クラブ

交付額 **220,000円** 支出額 **144,011円**

- 調査研究 130,651円
- ・鹿児島県鹿児島市交通局「LRT停留所等について」
  - ・鹿児島県柳谷町内会（やねだん）「行政に頼らない集落づくり」
- 図書購入 13,360円
- ・市町村要覧（2冊）
  - ・地方議会改革の10年 他
- 所属議員 江間田信一、有坂隆志

## 小林隆志

交付額 **110,000円** 支出額 **26,390円**

- 調査研究 26,090円
- ・神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」
- 図書購入 300円
- ・市町村要覧

小林 澄子さん  
(上延生)

### 居心地のよいところ

「教室は間違ふところ」という作者不詳の詩がありました。お互いの人格を認め合いながら切磋琢磨し、共に成長する居心地のよい教室がいいね。という内容で、そんなところを目指していたものでした。

時を経て、地域の皆様にお世話になることになってみると、そんな所が、身近にもあったのです。

正義の味方、真理を求める人、個性豊かな人たち、ユーモアいっぱいの素敵な方々、そして、失敗を責めないゆったりとした優しい環境。

行事等では、それぞれの持ち味を生かしながら、楽しい輪が広がります。

このような居心地のよいところに、何げなく加えていただくことができることに感謝しています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

鈴木 俊喜さん  
(上稲毛田)

### 農業職から潤う芳賀町

地元芳賀町に戻り、農業職に就き4年目を迎えました。以前は都内で飲食業をしていましたが、より食の安全性・見える化を具体的に展開するべく、自然豊かな芳賀町に戻り農業を行っています。

戻って芳賀町の変化に驚かされました。LRTの導入、団地の拡大、道路の建設など、少子高齢化の未来を見据えた動き。ですが、農業からみればいろいろな事業を行っている中、次世代農家への期待が高まっていますが、その動きは制限傾向にあり、若手お年寄り関係なく芳賀町産の青果などのアピール、マッチング、フォローの強化に期待してしまいます。芳賀をブランド化、県外・海外へのアプローチを展開し、経済の安定、農業の偉大さを踏まえ次世代農家の確保、増加へ取り組むことができれば、人口が増え町が潤う一つの手段になるのではないのでしょうか。

関口めぐみさん  
(東水沼)

### 子供たちを守るガードレール増設について

和泉ニュータウンの小学生約25名が利用するスクールバスのバス停は、早朝通勤ラッシュで交通量の多い県道下高根沢氷室線沿いの下り坂にあります。冬には路面凍結等で、児童の列に車が突っ込んでくるのでは…と日々、交代で立哨する保護者も気をつけておりました。またテレビなどで流される悲惨なニュースを目にするたびに、子供たちの身を守るためにまず何ができると地元の議員さんに相談したところ、子供たちの安全第一とご尽力頂き長年要望してきた念願のガードレールが増設されました。まずは安全に登下校でき安心して住める町、そして子供たちが成長し勉強等で芳賀町を離れても、またこの町に帰ってきたい…と思う町になることが私たち親の願いです。子供たちは私たちの命も同然、そして芳賀町にとってもかけがえのない宝です。みんな、みーんな元気にすくすく大きくなーれ！（^^）！と願いを込めて…。

## 議会日誌

2月

- 4日・定例監査
- 6日・水道運営協議会
- 12日・議会広報常任委員・議会運営委員合同研修会  
(～13日・群馬県、長野県)
- 14日・議員全員協議会
- 19日・例月現金出納検査
- 20日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・議会運営委員会  
・県町村議会議長会・研修会
- 23日・舞踊まつり
- 26日・芳賀郡中部環境衛生事務組合定例会  
・芳賀中部上水道企業団定例会

3月

- 2日・芳賀地区広域行政事務組合定例議会
- 3日・令和2年第1回芳賀町議会定例会  
(～16日)  
・議会広報常任委員会
- 23日・例月現金出納検査  
・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 27日・町政功労者表彰式

4月

- 1日・令和2年第2回芳賀町議会臨時会  
・辞令交付式
- 9日・町農業再生協議会総会
- 11日・町体育協会総会
- 13日・議会広報常任委員会
- 20日・例月現金出納検査  
・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 22日・議会広報常任委員会



▲春の便り～菜の花とミツバチ～

## 議会だよりは ホームページでも 公開しています

本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしています。

掲載しきれなかった一般質問は、会議録で見られます。アクセスしてみてください。

スマホや  
タブレット  
でも！



芳賀町議会

検索

## 琴芳会(大正琴)



### 議場コンサートについて

3月3日開催を予定しておりました  
議場コンサートは延期しております。  
次回開催については現在調整中です。

## 編集室

東日本大震災から今年  
3月で9年が経過しました。  
犠牲になられた方は2万2  
千人を超え、いまだに避難  
を余儀なくされている方は  
4万7千人にも及びます。  
また、昨年10月に発生した  
台風19号「令和元年東日本  
台風」においては、関東地方  
や東北地方などで記録的な  
大雨となり、甚大な被害を

もたらしました。県内の被  
害を受けられた皆さま、並  
びに東日本大震災にみまわ  
れました方々の一日も早い  
復旧が進みますよう心より  
願っております。

(委員長 岡田年弘)

### 議会広報常任委員会

委員長 岡田 年弘  
副委員長 山口菊一郎  
委員 江間田信一  
委員 小林 信二  
委員 小林 俊夫